

小・中学校における 租税教育指導事例集

令和3年3月

登米市租税教育推進協議会

発刊に寄せて

今年度も登米市租税教育推進協議会並びに租税教育推進協力者の皆様のご尽力により、ここに「令和2年度租税教育指導事例集」が刊行されますことをたいへん喜ばしく思います。

税金は、「国民の健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動の財源となり、年金・医療などの社会保障・福祉や、私たちの生活を守る水道・道路の整備、そして教育・警察など公的サービスを運営する費用に充てられます。このように国民が互いに助け合い、共によりよい社会を作っていくために必要な制度であることを、広く理解していくことが大切であると考えます。

このことから、租税教育について学習し、興味をもち、見聞を深め、理解していくことは大事な取組と考えております。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、各種行事の実施が中止になる中、小学校15校、中学校3校で租税教室が開催され、税金についてのより専門的な学習が進められたことは、誠に有意義であり、各校及び佐沼税務署のご努力に敬意を表します。

さらに本書では、授業での租税教育指導の進め方について、小学校6校、中学校2校の具体的な実践事例が紹介されています。いずれの学校でも児童生徒に「税」について分かりやすく理解させるため、工夫を凝らして取り組んでおり、今後の租税教育活動に大変参考になる内容となっています。各小・中学校におかれましては、ここに紹介されています租税教育実践事例を、今後ぜひ参考にさせていただきたいと思っております。

結びに、各小・中学校の授業で租税教育の推進にご指導いただいた先生方のご努力とご支援、並びに本事例集の取りまとめに当たられました佐沼税務署の皆様のご尽力に心から感謝を申し上げ、発刊に際してのあいさつとさせていただきます。

令和3年3月

登米市租税教育推進協議会会長
登米市教育委員会教育長

高橋富男

目 次

小学校指導事例

- ① 第6学年 北方小学校 教諭 三浦幸恵 …………… 1
- ② 第6学年 米谷小学校 教諭 川村 愛 …………… 2
- ③ 第6学年 錦織小学校 教諭 瀬 潤 文 康 …………… 3
- ④ 第6学年 石越小学校 教諭 石 川 裕佳子 …………… 4
- ⑤ 第6学年 西郷小学校 教諭 高 橋 久美子 …………… 5
- ⑥ 第6学年 柳津小学校 教諭 鈴 木 操 …………… 6

中学校指導事例

- ① 社会科 中田中学校 教諭 木 村 伸 …………… 7
- ② 社会科 豊里中学校 教諭 遠 藤 孝 …………… 8

令和2年度 租税教育推進協力者 …………… 9

令和2年度 登米市租税教育推進協議会 構成員名簿 ……………10

歴代租税教育推進協力者 ……………11

租税教育実践レポート

くらしと税金について考える

登米市立北方小学校教諭 6学年 三浦 幸恵

実施年月日：令和2年6月30日 35名

1 実施計画・指導のねらい

学習前の実態調査から、税金という言葉は児童全員が聞いたことがあると回答した。また、多くの児童が買い物をするときに10%の消費税を納めていることや、税金の使い道として教科書を買ってもらっていることも知っていた。しかし、その他の税金の納め方や使われ方を知らない児童が多かった。そこで、自分たちの生活は税金と深くかかわっており、安心して安全な豊かなくらしを実現していくためには欠かせないものであることを理解させたいと考えた。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○), こどもたちの反応 (●), 使用教材等 (□)	
1	・国民の義務の中には、税金を納める義務があることを知る。	○税金について知っていることはありますか。 ●消費税は買い物をするときに払う。 □使用教材名 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」	【指導のポイント】≪1時間目≫ なぜ納税の義務があるのか疑問を持たせ、租税教室へつなげるようにした。
2	「租税教室」 ・税金の意義や使われ方、税金の必要性について理解する。	○税金がなくなると私たちのくらしはどうなるでしょうか。 ●安心して安全な暮らしができなくなる。 □使用教材名 DVD「マリンとヤマト不思議な日曜日」 	【指導のポイント】≪2時間目≫ 登米法人会の方々を迎え、税金の大切さや必要性を教えもらい理解を深めることができた。
3	・東日本大震災の復旧に税金が使われていることを知る。	○税金によってどのような復旧作業が行われたのでしょうか。 ●仮設住宅建設、ライフラインの復旧、がれきの撤去や処理、道路や港湾の復旧などが行われた。 □使用教材名 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」	【指導のポイント】≪3時間目≫ 復旧作業の映像を見せながら、税金の大切さや必要性について再確認した。
4	・標語や絵はがき作りを通して、税金への関心や理解を深める。	○税金の大切さを標語や絵はがきで伝えるためには、どのような言葉や絵を描いたらよいでしょうか。 ●学校や道路など私たちが困らないで生活できるのは、税金のおかげだということを伝えたい。 □使用教材名 まんが「おじいさんの赤いつぼ」	【指導のポイント】≪4時間目≫ 今までの学習を活用して、学んだことを伝える作品づくりを行った。

3 実践の結果 (◎) と課題 (◆)

◎ 租税教室や社会科の授業を通して、税金が身近なものに使われており、自分たちのくらしを支えてくれている大切なものであるということを学び、理解を深めることができた。

◆ どのような種類の税を納めているか家族にインタビューさせるなどして、消費税以外にも様々な税を納めていることを実感させ、公共物等をより大切に利用しようとする気持ちも育てていく必要があると感じた。

租税教育実践レポート

わたしたちのくらしと税金

登米市立米谷小学校教諭 6学年 川村 愛

実施年月日：令和2年9月17日 19名

1 実践計画・指導のねらい

実生活において消費税などの身近な税金があることを児童たちは知っているが、それ以外の税金の種類や税金の使い道について知っている児童は少ない。そこで本実践では、社会科「震災復興の願いを実現する政治」の授業、税務署よりゲストティーチャーを招いての「租税教室」、税に関する標語を考える活動を通して、政治と税金の関係や税金が自分たちの生活を支えていることを知り、税金の大切さについて理解させる。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○), こどもたちの反応 (●), 使用教材等 (□)
1	・東日本大震災後の復旧の様子を知り、人々の生活を守る町づくりについての学習課題を作る。	○ 震災直後から少しずつ変わっていく気仙沼の町の様子を見て、どのようなことを考えましたか。 ● がれきがなくなって少しずつ建物や道路ができてきている。 ● かつおの水揚げも再開されて、産業も復興してきている。 □ANNnewsCH動画
2 3 4	・震災直後の市や県、国の取り組みについて知り、町づくりに税が使われていることを調べる。	○ 震災直後の市や県、国の取り組みについて調べましょう。 ● 災害対策本部が設置された。 ● 仮設住宅の建設、ライフラインの復旧などを進めた。 ● 第一次補正予算を成立した。 ○ 復旧に向けた取り組みをするためのお金はどこから出ているのでしょうか。 ● 税金
5	・税金と自分の生活との関わりについて考える。 (税務署よりゲストティーチャーを招いての「租税教室」)	○ 税金が使われている施設はどこでしょう。 ● 学校、公園、公民館、消防署、警察署、信号… ○ 税金がないと私たちの暮らしはどうなってしまうのでしょうか。 ● お金を払わないと学校で学べなくなる。 ● 火事になっても消防車を呼べない。 ● 税金は自分たちの暮らしや社会を支えている。 □使用教材名 税のビデオ (マリンとヤマトの不思議な日曜日) 
6 7	・市民の多様な意見をもとに公園作りについて考える。 ・学習を生かして、税に関する標語を考える。	○ いろいろな意見からどんな公園にするとよいか考えましょう。 ● 子どもからお年寄りまで使えるバリアフリーの公園。 ● 避難所としても使えるようにした方がいい。 ○ これまでの学習を生かして税の標語を考えましょう。

【指導のポイント】<1時間目>

気仙沼市の町の変化の様子を定点カメラで撮影した動画を視聴させることで、道路や建物ができ、少しずつ復興していく様子を捉えさせた。

【指導のポイント】<2～4時間目>

復旧に向けて、市や県、国は様々な取り組みをしており、多くのお金が掛かることに目を向けさせた。そのお金はどこから出ているか考えさせることで税金へと結び付けた。

【指導のポイント】<5時間目>

税務署よりゲストティーチャーを招き、税の基礎知識を教えていただいたり、DVDから税のない社会について考えたりすることで、税金の大切さに気付かせた。



【指導のポイント】<6～7時間目>

公園作りについて考えることで、税が自分たちの生活を豊かにするために使われていることを意識させ、多様な意見を経て、使われ方が決められていると気付かせた。また、標語はコンクールに応募した。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 東日本大震災直後の気仙沼の町の変化から、どのように復旧・復興を進めたのか、どのようにその費用をまかなうのか課題意識を持つことができ、税金へと目を向けさせることができた。
- ◎ 租税教室で税金の種類や税金が使われている建物を知ったり、DVDの視聴や1億円のレプリカを持ったりすることで、税金について関心を高めた。
- ◎ 税金がなかった場合の社会を考えさせることで、税金の大切さについて気付かせることができた。
- ◆ 消費税以外の税は児童にとって、なかなか馴染みがなく理解しにくいようであった。地方税や国税など、前単元の「国の政治のしくみと選挙」の学習の際に、どのようなものかをより理解させることで、税についての理解が深まると感じた。

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の働き

登米市立錦織小学校教諭 6学年 瀬淵 文康

実施年月日：令和2年6月12日 9名

1 実践計画・指導のねらい

児童にとって税金は、普段の買い物で消費税を支払うなど、身近なものとなっている。しかし、税金の意味やその役割についてはほとんど理解していない。税金が「何の目的で集められ」、「どういう目的で、どのように使われているか」ということに関しての理解は不十分である。そこで本単元では、児童にとって身近な公共施設の建設、地域の開発、災害復旧の取り組みなどに税金が使われていることに気付かせると共に、税金の使い方を決めるのは選挙で選ばれた国会議員であることを伝え、選挙に行くことの大切さに気付かせる。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)，子どもたちの反応 (●)，使用教材等 (□)
1	国会の働き ・ 国会の働きについて整理し、一文で説明する。	○ 国会の働きについて調べましょう。 ● 国会には衆議院と参議院がある。 ● 国の予算や法律を決める。 ● 税金の使い方は国会で話し合っで決める。
2	選挙のしくみと税金の働き ・ 選挙や税金に関する資料を収集して調べ、選挙のしくみや税金の働きについて整理し、一文で説明する。	○ 税金の種類について調べましょう。 ● 物を買うときに払うのは消費税。 ● 自営業の人は所得税を払っている。 ○ 税金の使われ方について調べましょう。 ● 学校教育やごみ処理などに使われている。 ● 警察や消防、道路や橋の建設に使われている。 ○ 税金がなかったらどうなると思いますか。 ● 道路や橋が壊れても直せない。 ● 町にごみがあふれてしまう。 ○ 選挙のしくみと税金の働きについて考えたことを一文で書きましょう。 ● 税金の使い方を決める国会議員は選挙で選ばれるので、選挙に参加することが大切である。
3	内閣の働き ・ 内閣に関する資料を収集して調べ、内閣の働きについて整理し、一文で説明する。	○ 内閣のしくみや働きについて調べましょう。 ● 内閣では、政治の進め方を相談している。 ● 内閣は、国会で決められた予算にもとづいて税金を使い、国民のためにいろいろな仕事をしている。
4	税金についてさらにくわしく知ろう ・ 登米法人会からゲストティーチャーを招いて、税金についての詳しい話を聞いたり、質問したりする。	○ 税金が使われているものとそうでないものに分類しましょう。 ● 橋は税金が使われている。 ● ホームセンターには使われていない。 ○ 税金がないとどうなるでしょう。 □ 使用教材名 税のDVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 ● 救急車が呼べない。 ● 普通に生活できなくなる。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 税金についての理解が深まり、納税することの大切さを理解することができた。
- ◎ 税金の使い方を決める国会議員は選挙で選ばれることが分かり、選挙に行くことで自分たちの願いが政治に反映されることを理解することができた。
- ◆ 教科書での学習と租税教室までの期間が空いてしまった。教科書の改訂を踏まえ、租税教室の時期を変更する必要がある。

租税教育実践レポート

私たちの生活と税金の関わり

登米市立石越小学校教諭 6学年 石川 裕佳子

租税教室実施年月日：令和3年1月15日 34名

1 実践計画・指導のねらい

児童は5月に「わたしたちの生活と政治」の学習で、税金を納めることは義務であることを学んでいる。税金が生活に役立っていることや教科書が無償で配られていることについても知っている。しかし、自分たちの身の回りで税金がどのように使われているのかを具体的に知らない。消費税についてはもっと安い方が良くと安易に答える児童も見られた。身の回りでどんなことに税金が使われているのかを知り、税金に対する自分の考えを深めさせたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの身の回りで何に税金が使われているのか、知っていることや疑問を話し合う。 消費税について、意見交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金についてどんなことを知っていますか。 ● 消費税！ ● 教科書は無償なんだよね。 ○ 消費税についてどう考えていますか。 ● もっと安くなってほしい。 ● しかたがない。義務だし…。 □ 使用教材名 社会の教科書「政治・国際編」
2	<ul style="list-style-type: none"> 租税教室（登米法人会の方をお招きし、出前授業を実施する。） 税金の種類や意味、使われ方について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金の種類や使われ方について学ぼう。 ● 教科書や道路を作る他にどんなことに使われているんだろう。 ○ 税金が使われているものと使われていないものに分けよう。 ● 工場も税金だと思う。 ○ 税金がなくなるとどうなるのだろうか。 ● 学校に行くのにお金がかかる。 ● 救急車が呼べないかも…。 □ 使用教材名 税のビデオ（マリンとヤマト） 
3	<ul style="list-style-type: none"> 税について学んだことや考えたことを表す。「令和2年度 税に関する絵はがきコンクール」に応募する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金に関する絵はがきをかこう ● 税金に関係するキーワードを入れよう。 ● どんな絵で表そうかな。
4	<ul style="list-style-type: none"> 登米市では税金を使って、どんなまちづくりが行われているのかを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登米市のまちづくりはどんなことが行われているのだろうか。 ● 学校のPCも税金で整備されているのか。 ● 石越こども園も税金で建てられるんだね。 □ 使用教材名 令和2年度 登米市の予算とまちづくり

【指導のポイント】<1時間目>

5月に学習している日本国憲法を思い出させ、税について関心をもたせる。身近な消費税について意見交流を行う。

【指導のポイント】<2時間目>

消費税は安い方がいいのではないかという児童も半数いた中で、租税教室を実施したところ、税金がなくなると今の日常生活を送れないことに気付いた児童が多かった。そして、税金に対する考え方が変わった意見や感想が見られた。

【指導のポイント】<3時間目>

学習したことを表現できた。



【指導のポイント】<4時間目>

さらに身近なこととして捉えるために、登米市のまちづくりの具体的な活動を紹介する。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

◎ 身近なところに税金が使われていることや具体的な使い道を知ることができたことで、税金が私たちの生活を支えている大切なものであることに気付くことができた。

◆ 5月に実施した学習内容の復習にもなったが、時数を確保することは大変だと感じた。

児童の感想より

- ・ 税金がなかったら、あたりまえの生活がなくなると思った。税金に対する考え方が変わった。
- ・ 税金は日常生活を支えてくれていると思った。私も税金を払うようになったら、ちゃんと納める大人になりたい。

租税教育実践レポート

わたしたちのくらしと税（教科横断的な取組）

登米市立西郷小学校教諭 6学年 高橋 久美子

実施年月日：令和2年10月26日 15名

1 実践計画・指導のねらい

6月に完全授業再開という今までにない1年が始まった。年間計画にあった租税教育については、税務署の伊藤様を講師に迎え6月に実施した。その際は「税は生活に必要」という感想を多くの児童がもっていたが、自分の生活と関わりがあることをどれくらい意識できたか確認が必要であると考えた。そこで、国語科の単元「町の未来をえがこう」と関連させながら、登米市の現状を「くらしと税」の視点から考えさせる場面を設定した。さらに「税に関する標語づくり」「子どもたちが考える登米市の未来新聞コンクール」などの活動を通し、日々の暮らしの中で税について意識できるように取り組んだ。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

- 6月 税務署の方を招いて租税教室を実施。税金の役割や必要性を知る。 使用教材 DVD「マリンとヤマト」、模造一億円
- 10月 国語科 単元「町の未来をえがこう」と関連させて登米市の税金の使い道など、自分の暮らしと税の関係について意識を高める。

時間	学習内容	主な発問 (○), こどもたちの反応 (●), 使用教材等 (□)
1	<ul style="list-style-type: none"> 副教材の表紙の税金クイズに取り組む。 税の種類と使い道、国・県の予算について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>税金はどのように使われるのでしょうか。</u> ● 消費税の他にも税の種類がある。 ● 税の使い道はたくさんある。 □ 使用教材名 副教材 「わたしたちのくらしと税金」 
2	<ul style="list-style-type: none"> 副教材のP3, 4の問題に取り組み、税金の使い道を確認する。 登米市の税の支出について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>登米市の税金はどのように使われるのでしょうか。</u> ● えっ、県と支出の順番が違う。 ● 民生費の割合が多いから、「福祉の充実」が登米市にとって大事なのかなあ。 □ 使用教材名 副教材 「わたしたちのくらしと税金」 租税教育教師用資料 「登米市の予算とまちづくり」 
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> 税に関する標語を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> マンガ「おじいさんの赤いつぼ」を配付、この冊子やこれまでの学習を生かして税金について考え、標語を複数作る。 □ マンガ「おじいさんの赤いつぼ」
3	<ul style="list-style-type: none"> 税金とわたしたちのくらしに対する考えを深める。 税に関する標語を清書する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>税金がなかったら、わたしたちのくらしはどうなるのでしょうか。</u> ● 火事や災害でも人を助けることができず、人口が減る。 ● 学校に行けない。 ● 町が汚くなる。 ● 社会が壊れていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・税金は 国を動かす エネルギー ・町作り 未来をえがく 税金で ・税金は 未来のとびら 開かき </div>

【指導のポイント】<1時間目>

円グラフの金額や項目を目隠しにして予想させることで、児童の関心が高まった。支出項目のカードと項目の中身を書いたカードを結び付ける活動を行い、使い道について理解が深まった。

【指導のポイント】<2時間目>

支出の割合のランキングを予想させ、根拠を述べながら意見を発表させたことで、自分の生活のことや登米市全体の取組などについて考えることができた。意見の交流が活発になった。

【指導のポイント】<家庭学習>

資料がマンガ冊子になっていることで、文章理解を苦手としている児童も、取り組むことができた。

【指導のポイント】<3時間目>

これまでの学習を振り返り、6月の租税教育で見たDVDを思い出させたり、副教材の「わたしたちのくらしと税」を参考にしたりして考えさせる。

- この後、「税に関する標語コンクール」に応募した。
- 3学期、未来の登米市について考え「登米市未来新聞コンクール」に応募した。
- 3学期、「税に関する絵はがきコンクール」に応募した。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 副教材「わたしたちのくらしと税金」は、児童にとって扱いやすい資料であった。図や写真などから税金が身近な暮らしに欠かすことができないものであることが分かった。
- ◎ 学校の教材や備品なども「税金で買ったものだから大事に使おう」とする態度が見られた。
- ◆ 登米市の税収入や支出について教師がグラフを作って児童に提示した。登米市版の児童用リーフレットなどがあると、児童はさらに自分たちのこととして税金について考えることができる。
- ◆ 国税、県税、地方税の関連については理解が難しいところがあった。社会の学習で再度税金の制度について振り返る必要がある。

租税教育実践レポート

わたしたちのくらしと税金

登米市立柳津小学校 教諭 6学年 鈴木 操

実施年月日：令和2年6月17日 13名

1 実践計画・指導のねらい

人々の願いを実現するための費用には、市民や会社などから集められた税金や、国や県からの補助金などが使われる。児童にとって身近な消費税については多少知っているものの、なぜ税が必要でどのように使われているのかということへの興味・関心が高いとは言えない実態がある。わたしたちの生活や社会を支えるために大切な税金について調べたり考えたりすることで、税金について正しく理解させていきたい。また、税金が使われている場面に着目して調べいくことで、税金が果たす役割を理解するとともに、一人一人の納税が社会を支えていることについて気付かせ、政治への興味・関心を高めていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	税金について知っていることを出し合い、税金の種類と使い道について調べていくことを確認する。	○ 税金について知っていることを出し合います。 ● 物を買うときに消費税がかかる。車や家にも税金がかかる。 □ 使用教材名 副教材「わたしたちのくらしと税金」 教科書「新しい社会」政治・国際編 p27
2	ゲストティーチャーを招き、税金についての話を聞くことで、税金の必要性について理解する。	○ 税金にはどのようなものがありますか。 ● 消費税、自動車税、住民税 ○ 税金はどのようなところで使われていますか。 ● 公共施設、道路、学校 ○ 税金がなくなったらどうなるでしょう。 □ 使用教材名 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 ○ 税金が使われているところはどこでしょう。 ● 考えながらカードを分別する。
3	市の収入や支出の内訳から税金がどのように使われているかを調べる。	○ 市の収入にはどのようなものがあるでしょう。 ● 税金、補助金、借入金 ○ 集めた税金はどのように使われるでしょう。 ● 教育、医療、ごみ処理、公共事業 □ 使用教材名 副教材 登米市の予算とまちづくり 登米市広報 教科書「新しい社会」政治・国際編 p42～43
4	税金について調べたことや考えたことをまとめ、意見を交流し合う。 ※ 「税に関する標語」コンクールの出品への意欲付けを図る	○ 学習を振り返り、まとめをしましょう。 ● 人々の願いを実現するための費用に税金は使われている。 ● 税金はわたしたちの生活や社会を支える大切なものである。 □ 使用教材名 副教材 わたしたちのくらしと税金 おじいさんの赤いつば

【指導のポイント】≪1時間目≫

税金についてのクイズをしたり、児童にとって身近な消費税を取り上げて考えさせたりすることで、興味・関心を高めることができた。

【指導のポイント】≪2時間目≫

税務署からゲストティーチャーを招き、クイズやDVD視聴など様々な手立てを講じながら分かりやすく説明いただくことで、税金の必要性について気付かせることができた。

【指導のポイント】≪3時間目≫

教科書と登米市の資料を合わせて考えていくことで、身近な問題として捉えさせることができた。

【指導のポイント】≪4時間目≫

税金があることで自分たちのくらしが守られていることを確認した上で、税に関する標語の中に、その思いを表現させるようにした。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ ゲストティーチャーからの分かりやすい資料提示や説明により、児童は税金の必要性を理解するとともに、税への関心を高めることができた。
- ◎ 消費税や、登米市の税の使われ方など、児童にとって身近なものを資料として提示することで、学習への意欲付けを図ることができた。自分たちも税金を支払っていること、税金によってくらしが守られていることを実感させることができた。
- ◆ 税に関する用語やその理解については個人差があることから、できるだけ易しい表現で分かりやすく説明していくことが必要だと感じた。
- ◆ 税の学習は、国や市の政治・経済に目を向けさせるよい機会になった。児童に興味・関心を持たせていく手立てとして、新聞や広報等を活用しながら継続して考えさせていくことが大切であると考えている。

租税教育実践レポート

自分と税との関わりを考える

登米市立中田中学校教諭 3学年 木村 伸

実施年月日：令和 2年12月 1日 32名

1 実践計画・指導のねらい

「自分と税との関わりを考える」ために、授業では、「政府の役割と国民福祉」の単元で重点的に扱う予定である。中学校社会科の学習指導要領では、公民的分野の内容（イ）にあたり、国民生活と福祉の向上を図るために国や地方公共団体が果たしている役割を考えさせることを通して、経済についての見方や考え方の基礎を養うことを、主なねらいとしている。生徒が公民学習の中で自分と税との関わりに気づき、正しい知識や理解を深めること、将来の納税者としての自覚と考えをしっかりともてるように指導していきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
事前学習	・税の作文を書いてみよう。	○ <u>身近には、どのような税があるだろう。</u> ● 消費税，所得税，自動車税，関税，固定資産税など。 ○ <u>どのようなことに使われているのだろう。</u> ● 学校，道路，橋，政治，公務員，空港，年金，保険料など。 □ 「私たちの暮らしと税」（宮城県租税教育推進協議会）
1	政府の役割と国民福祉 ・私たちの生活と財政 ・政府の役割と財政の課題	○ <u>税金はどのように集められ、使われているのか。</u> ● 直接税・間接税，国税・地方税，累進課税，公共事業，自分たちの義務教育費など。 ○ <u>日本の財政について考えよう。</u> ● 日本の財政は，予算に占める社会保障費，国債・地方債の増加などが課題になってきている。 □ 教科書，デジタル教科書
2	・社会保障の仕組み ・少子高齢化と財政	○ <u>日本の社会保障はどのように行われているか。</u> ● 年金・医療・子育て支援など。 ○ <u>日本の将来の社会保障について考えよう。</u> ● 今後日本が「高福祉高負担」「低福祉低負担」の社会のどちらに進むべきかを，多面的・多角的に理由を考えて説明させた。 (高福祉高負担と考える生徒が多かった。：安心して暮らせる，みんなで頑張る，支え合うなど) □ 教科書，デジタル教科書
3	・租税教室	○ <u>税について知ろう。</u> ● 税についての現状や詳細な内容を学んだ。また，実物の1億円のケースを持ってみる。(1億円の重さや大きさが実感できた) □ 1億円のケース，資料（県税事務所準備），プロジェクターDVDプレイヤー

【指導のポイント】<事前学習>

夏休みの期間が短くなったため，7月下旬に各クラスで税の作文の指導を行った。税務署からいただいた資料を基に，税金が自分たちの身近なところでも役立っていることを気づかせる。また，税の作文を書く際も自分の身近な生活の中での話題や疑問を取り上げて書くように指導した。(例年，夏休みの課題)

【指導のポイント】<1・2時間目>

身近な税金である消費税や軽減税率で自分たちが買い物をする時に持ち帰りや店内飲食で税金が違うことについて，取り上げて考えさせる。

【指導のポイント】<3・4時間目>

歴史的に社会保障が認められていった経緯を踏まえ，現在は，社会保障の4つの柱を基に，国民の権利を守っていることに気づかせる。

【指導のポイント】<5時間目>

県税事務所の職員の方に，分かりやすく税について説明をしていただいた。実際の1億円のケースを持ち，また，DVDを視聴して税金の大切さを理解することができた。

3 実践の成果(◎)と課題(◆)

- ◎ 税務署・県税事務所などの外部機関の方々は，とても積極的でその姿勢が生徒にも伝わり，将来，税務署や県税事務所働くにはどうしたらいいのか等を聞き，興味を持つ生徒が多かった。(最新の資料を用いて説明をしている。)
- ◎ 現在の日本の財政が，具体的にどのような課題があり，自分たちがそのために何ができるかを考えるきっかけになった。
- ◎ 税の作文を書くために，家庭内で身近な税の会話や質問などがあり，作文の内容に反映されている生徒が多数いた。
- ◆ 今年度は，新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校で，考える場や資料活用場の設定が思うようにできなかった。(もう少し深い内容まで実施できなかった)
- ◆ 税の作文(8月)と租税教室(12月)までに実施時期の間隔があるので，社会科の年間指導計画との関連も見直し，連続して集中して実施できるような構成にしていきたい。

租税教育実践レポート

自分の生活と税について考える

登米市立豊里中学校教諭 3学年 遠藤 孝

実施年月日：令和3年1月29日 46名

1 実践計画・指導のねらい

本単元「政府の役割と国民の福祉」では、国民生活と福祉の向上を図るために国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせるとともに、経済についての見方や考え方の基礎を養うことを主なねらいとしている。指導に当たっては、現代社会の特色を踏まえつつ、生徒にとって身近な事例を取り上げ、自分の今の生活との関わりについて気付かせていきたい。また、将来の納税者として国や地域社会の在り方を主体的に考えるという自覚を育てていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
事前指導	税の作文 消費税	○ <u>税について知っていることを話そう。</u> ● 警察や消防など、私たちの生活を支えている。 ○ <u>消費税はなぜ10%になったのでしょうか。</u> ● 少子高齢化が進んだからかだと思ふ。● 国の予算が厳しい状況だから。 □ 「もっと知りたい税のこと」(財務省)
	私たちの消費生活	○ <u>ワークシートで10年後の一人暮らしをシュミレートしよう。</u> ● 生活していくには、思っていた以上にお金がかかる。 ● もし、大きな怪我や病気をしたらどうしよう。 □ 「ワークシート」
1	地方財政の仕組みと課題 ・ 地方財政の仕組み ・ 地方公共団体の財政健全化	○ <u>都道府県間で地方交付税交付金の割合が違うのはなぜだろう。</u> ● 秋田や沖縄は3割を超えている。● 住んでいる人の数に関係があるのではないだろうか。 ○ <u>地方税を安定させるためには、どうしたらいいだろう。</u> ● その地方の特徴を生かした、独自の税を設定してもいいのではないだろうか。 □ 「私たちの宮城」「みやぎ環境税パンフレット」「ふるさと納税のサイト」
2	私たちの生活と財政 ・ 財政の仕組み ・ 様々な税金 ・ 税の公平性	○ <u>政府の財政について、内容を見てみよう。</u> ● 色々な税金がある。国債(借金)も多い。 ● 社会保障関係費など、人々の暮らしのために使われている。 ○ <u>国債を減らすために、次のことについて考えてみよう。</u> ・ 所得税や法人税などの直接税の割合を増やすべきである。 ・ 消費税などの間接税の割合を増やすべきである。 ● 法人税を増やすと、海外に移転する企業が増えるのではないだろうか。 ● 所得が少ない家庭にとっては、消費税の負担も大きいはずではないだろうか。 □ 「もっと知りたい税のこと」(財務省)
3	社会保障の仕組み ・ 社会保障の4つの柱 ・ 社会保障を支える人々	○ <u>みんなが病院に行ったときの、会計の場面を思い出してみよう。</u> ● お金を払っていないような気がする。 ○ <u>日本とアメリカの医療制度の違いを見てみよう。</u> ● アメリカだと医療保険に入っていないと、こんなにかかるのか。 □ 社会科資料集
4	少子高齢化と財政 ・ 社会保険の現在 ・ 福祉社会の実現に向けて	○ <u>これからの日本の税制度は、どうあるべきだろうか。</u> ● 高福祉高負担が良い。● 低福祉低負担でよい。 □ 「ご案内しますアナザーワールドへ」(DVD)

【指導のポイント】《事前指導》

「税の作文」を夏休みの課題としたため、財務省の資料を基に簡潔に事前指導を行った。

【指導のポイント】《事前指導》

将来の生活をワークシートでシュミレートさせ、消費支出と税に対するイメージを持たせるようにした。

【指導のポイント】《1時間目》

地方交付税交付金について理解を深めるとともに、「みやぎ環境税」や「ふるさと納税」などの取組と結び付けて考えさせることができた。

【指導のポイント】《2時間目》

累進課税、税の逆進性、軽減税率について説明を加えた。また、これまで学習した産業の空洞化にも結び付けることができ、産業の国際競争の視点にも気付かせることができた。



【指導のポイント】《3時間目》

皆保険制度について説明。更に登米市では、18歳まで医療費の助成を行っていることを説明した。

【指導のポイント】《4時間目》

DVDは内容も面白く、熱心に見る姿が見られた。治安の維持や災害復興に対しても、税は必要だという感想もあった。

3 実践の成果(◎)と課題(◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 生徒たちにとって、身近な税に関する教材を提示するよう心掛けた。税務署からいただいた資料は、よくまとまっており活用しやすかった。
- ◎ 将来の生活をワークシートでシュミレートさせたことは効果的であった。消費者としての視点も持ったことで、あまりなじみのない税と自分たちの生活との関わりを意識させることができた。学習前よりも税に対する興味・関心が高まり、社会や地域のことについても考えることができた。
- ◎ 生徒たちの感想としては、医療や教育が充実しているのであれば高負担でも構わないという、北欧型の税制度を支持する考えが多かった。
- ◆ 税の作文の課題提示は、税についての理解や疑問が深まる後半の方が効果的かもしれない。また、今年度は様々な制約があったため外部講師を依頼できなかったが、オンラインの活用など新しい形態も考えていく必要があると思われる。

令和2年度 租税教育推進協力者

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小 学 校	6 学 年	三 浦 幸 恵 教諭
米 谷 小 学 校	6 学 年	川 村 愛 教諭
錦 織 小 学 校	6 学 年	瀬 渕 文 康 教諭
石 越 小 学 校	6 学 年	石 川 裕 佳 子 教諭
西 郷 小 学 校	6 学 年	高 橋 久 美 子 教諭
柳 津 小 学 校	6 学 年	鈴 木 操 教諭
中 田 中 学 校	社 会 科	木 村 伸 教諭
豊 里 中 学 校	社 会 科	遠 藤 孝 教諭

令和2年度登米市租税教育推進協議会構成員名簿

(敬称略)

所 属	職 名	氏 名
登米市教育委員会	教 育 長	高 橋 富 男
宮城県東部教育事務所	所 長	樋 口 英 明
登米市教育支援センター	所 長	佐 藤 智 哉
登米市小学校長会	会 長 (石森小学校長)	菊 祐 二 郎
登米市中学校長会	会 長 (中田中学校長)	佐々木 邦 治
県北高等学校長会	登米地区代表 (佐沼高等学校長)	狩 野 秀 之
登米市生涯学習課	生涯学習課長	日 野 幸 紀
登米市納税貯蓄組合連合会	会 長	及 川 俊
公益社団法人 登米法人会	会 長	渡 邊 光 悦
東北税理士会宮城県北支部会 佐 沼 部 会	部 会 長	及 川 富 男
佐 沼 税 務 署	署 長	塩 原 朗
宮城県東部県税事務所 登米地域事務所	所 長	浅 野 政 信
登 米 市	総務部次長兼 税 務 課 長	富士原 孝 好

《事務局》

佐 沼 税 務 署	総 務 課 長	山 内 郁 夫
佐 沼 税 務 署	総 務 係 長	伊 藤 絵 美

歴代租税教育推進協力者

昭和61年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	西郷小	2 学年	鈴木陽子 教諭
登米町	登米小	2 学年	長谷信一 教諭
米山町	善王寺小	3 学年	熊谷仁一 教諭
迫町	北方小	4 学年	豊原仁 教諭
南方町	南方小	6 学年	富士原啓子 教諭
迫町	佐沼小	6 学年	畠山信弘 教諭
石越町	石越中	社会科	菊田郁朗 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺達郎 教諭

昭和62年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
豊里町	豊里小	3 学年	今野文彦 教諭
米山町	中津山小	4 学年	伊東博敏 教諭
南方町	西郷小	4 学年	菅原満夫 教諭
登米町	登米小	5 学年	菅原純一 教諭
南方町	南方小	5 学年	成澤淑子 教諭
迫町	北方小	6 学年	中津川良子 教諭
登米町	登米中	社会科	鈴木幹雄 教諭
豊里町	豊里中	社会科	沼田芳孝 教諭

昭和63年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	1 学年	岩渕安弘 教諭
米山町	桜岡小	2 学年	海野達兄 教諭
登米町	登米小	3 学年	千葉直子 教諭
迫町	佐沼小	4 学年	飯塚豊 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	佐藤教子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	及川茂法 教諭
米山町	米山中	社会科	及川喬 教諭
南方町	南方中	社会科	佐藤徳明 教諭

平成元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
中田町	石森小	2 学年	畠山蓉子 教諭
南方町	南方小	3 学年	小野寺蔦 教諭
石越町	石越小	3 学年	石山順 教諭
迫町	新田第一小	5 学年	石合克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野峻 教諭
東和町	米谷小	6 学年	桜井浩志 教諭
迫町	佐沼中	社会科	菊池信夫 教諭
中田町	中田中	社会科	吉野幸信 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	5 学年	菅原一子 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋節子 教諭
南方町	南方小	5 学年	小野寺 薫 教諭
石越町	石越小	1 学年	石山 順 教諭
迫町	北方小	4 学年	石合 克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
迫町	新田中	社会科	千葉 忠徳 教諭
石越町	石越中	社会科	二階堂 和夫 教諭

平成3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	3 学年	菅原一子 教諭
東和町	錦織小	4 学年	及川 晃史 教諭
東和町	米川小	5 学年	小野寺 夕へ子 教諭
中田町	石森小	5 学年	高橋節子 教諭
中田町	浅水小	5 学年	末永 澄子 教諭
中田町	加賀野小	6 学年	佐藤 美恵 教諭
登米町	登米中	社会科	矢内 昭裕 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺 達郎 教諭

平成4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	3 学年	大場 しの 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
南方町	西郷小	6 学年	齋藤 裕之 教諭
中田町	浅水小	3 学年	末永 澄子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	熊坂 昭子 教諭
東和町	錦織小	6 学年	及川 晃史 教諭
豊里町	豊里中	社会科	畠山 俊彦 教諭
米山町	米山中	社会科	小野 敦史 教諭

平成5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	5 学年	菊池 敏一 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
豊里町	豊里小	6 学年	熊谷 昭子 教諭
中田町	宝江小	6 学年	須藤 勝子 教諭
米山町	善王寺小	4 学年	太田 弥 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 一彦 教諭
中田町	中田中	社会科	畠山 俊彦 教諭
南方町	南方中	社会科	佐々木 由美 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成6年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	東郷小	6 学年	千葉 一彦 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋 節子 教諭
中田町	桜場小	6 学年	菅原 啓士 教諭
中田町	新井田小	6 学年	森 田 久 教諭
東和町	鱒淵小	5 学年	佐藤 孝文 教諭
迫町	北方小	6 学年	高橋 純 教諭
石越町	石越中	社会科	矢内 昭裕 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川 英樹 教諭

平成7年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	6 学年	庄子 裕 教諭
中田町	宝江小	6 学年	鈴木 久美 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	須藤 勝子 教諭
登米町	登米小	5 学年	沼倉 弘子 教諭
米山町	中津山小	5 学年	門田 洋之 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南 忠男 教諭
米山町	米山中	社会科	小野寺 文晃 教諭
中田町	中田中	社会科	佐々木 正生 教諭

平成8年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	6 学年	清和 幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	沼倉 弘子 教諭
東和町	米谷小	6 学年	渋谷 雄二郎 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋 晋 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	鈴木 有 教諭
米山町	中津山小	6 学年	門田 洋之 教諭
石越町	石越小	T T	佐藤 浩子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	小野寺 夕へ子 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場 正浩 教諭
豊里町	豊里中	社会科	渡邊 淳一 教諭

平成9年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	4 学年	清和 幸彦 教諭
登米町	登米小	6 学年	寺川 雅洋 教諭
東和町	錦織小	6 学年	石川 克行 教諭
中田町	上沼中央小	6 学年	皆川 寛 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	長南 忠男 教諭
米山町	中津山小	6 学年	後藤 俊朗 教諭
石越町	石越小	6 学年	高橋 敏子 教諭
南方町	西郷小	5 学年	佐藤 和枝 教諭
東和町	東和中	社会科	佐々木 正生 教諭
南方町	南方中	社会科	藤浦 悟 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成10年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	6 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	佐々木勝江 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	高橋秀憲 教諭
中田町	上沼小	5 学年	鈴木典幸 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	水沼勝 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	菅原善彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	熱海宏明 教諭
南方町	南方小	6 学年	佐藤秀明 教諭
登米町	講師	社会科	三浦秀治 教諭
石越町	石越中	社会科	山家英樹 教諭

平成11年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	3 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	萩田志保子 教諭
東和町	米谷小	5 学年	鈴木真理 教諭
中田町	浅水小	5 学年	佐藤教子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	兵藤清美 教諭
米山町	中津山小	6 学年	佐藤勉 教諭
石越町	石越小	5 学年	桜井ひろみ 教諭
南方町	東郷小	5 学年	熊谷俊子 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭
米山町	米山中	社会科	石田康之 教諭

平成12年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	T T	岩渕安弘 教諭
登米町	登米小	6 学年	熱海宏明 教諭
東和町	錦織小	5 学年	菅原善彦 教諭
中田町	桜場小	5 学年	佐藤美紀子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	後藤智子 教諭
米山町	米岡小	5 学年	秀由佳 教諭
石越町	石越小	5 学年	野里恵二 教諭
南方町	西郷小	5 学年	笹原明美 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
中田町	中田中	社会科	箱石雄悟 教諭

平成13年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	4 学年	金野ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	飯塚市代 教諭
東和町	鱒淵小	6 学年	中井充夫 教諭
中田町	石森小	5 学年	岩渕公一 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	矢野美智代 教諭
米山町	善王寺小	5 学年	遠藤聡子 教諭
石越町	石越小	5 学年	佐藤眞紀 教諭
南方町	南方小	6 学年	石井大志 教諭
東和町	東和中	社会科	高橋和芳 教諭
豊里町	豊里中	社会科	矢内昭裕 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成14年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	6 学年	千葉 ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	後藤 俊朗 教諭
東和町	米川小	5 学年	佐藤 建雄 教諭
中田町	加賀野小	5 学年	渡邊 宏紀 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	伊藤 悦子 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	蓬田 昭彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	庄司 紀子 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
南方町	講師	社会科	小野寺 彰哉 教諭
登米町	登米中	社会科	藤浦 悟 教諭

平成15年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	5 学年	門田 りえ 教諭
登米町	登米小	5 学年	三浦 教順 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	加瀬谷 武敏 教諭
中田町	新井田小	6 学年	高橋 広満 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	千葉 浩幸 教諭
米山町	中津山小	5 学年	村上 喜久美 教諭
石越町	石越小	5 学年	山口 沙織 教諭
南方町	西郷小	5 学年	遠藤 恵 教諭
迫町	新田中	社会科	山家 英樹 教諭
石越町	石越中	社会科	中津川 英樹 教諭

平成16年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	6 学年	佐藤 浩人 教諭
登米町	登米小	5 学年	佐藤 裕 教諭
東和町	米谷小	6 学年	佐藤 康 教諭
中田町	宝江小	6 学年	佐藤 祥子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	佐藤 裕志 教諭
米山町	米岡小	6 学年	阿部 孝紀 教諭
石越町	石越小	5 学年	高橋 美至 教諭
南方町	南方小	5 学年	佐々木 和枝 教諭
米山町	米山中	社会科	箱石 雄悟 教諭
中田町	中田中	社会科	吉田 淳子 教諭

平成17年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	佐沼小	6 学年	千葉 克憲 教諭
錦織小	錦織小	5 学年	佐藤 理英 教諭
石森小	石森小	5 学年	鹿野 俊洋 教諭
加賀野小	加賀野小	6 学年	鈴木 周 教諭
中津山小	中津山小	5 学年	伊藤 伸子 教諭
桜岡小	桜岡小	6 学年	鈴木 明美 教諭
東郷小	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
柳津小	柳津小	6 学年	加藤 浩二 教諭
佐沼中	佐沼中	社会科	伊藤 志穂 教諭
豊里中	豊里中	社会科	寺内 篤 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成18年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新田第一小	6 学年	秋 葉 徹	教諭
嵯峨立小	5・6 学年	渡 邊 宏 紀	教諭
上 沼 小	6 学年	熊 谷 真 理 子	教諭
浅水小	6 学年	鈴 木 勝 彦	教諭
豊里小	6 学年	寺 内 篤	教諭
善王寺小	5・6 学年	菅 原 満 夫	教諭
西郷小	5 学年	千 葉 洋 子	教諭
横山小	5 学年	佐 藤 秀 俊	教諭
東 和 中	社会科	高 橋 和 芳	教諭
南 方 中	社会科	菅 原 栄 治	教諭

平成19年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新田第二小	6 学年	永 倉 郁 裕	教諭
米川小	6 学年	萩 原 達 也	教諭
鱒淵小	3・4 学年	長 南 忠 男	教諭
宝江小	6 学年	佐 藤 朱 美	教諭
中津山小	6 学年	米 島 久 智	教諭
米岡小	6 学年	三 浦 弘 義	教諭
石越小	6 学年	高 橋 聡 子	教諭
南 方 小	6 学年	鈴 木 久 美	教諭
登米中	社会科	藤 浦 悟	教諭
津山中	社会科	飯 川 弘 芳	教諭

平成20年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
北 方 小	6 学年	菅 原 善 彦	教諭
森 小	特別支援	芳 賀 明 洋	教諭
桜岡小	6 学年	千 葉 高	教諭
善王寺小	6 学年	菅 原 満 夫	教諭
中津山小	6 学年	村 上 喜 久 美	教諭
米谷小	5 学年	佐 々 木 里 香	教諭
石森小	5 学年	澁 谷 智 樹	教諭
加賀野小	6 学年	大 友 厚 子	教諭
新 田 中	社会科	箱 石 雄 悟	教諭
石越中	社会科	田 口 勇 介	教諭

平成21年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
佐 沼 小	6 学年	千 葉 恵 理 子	教諭
森 小	5 学年	鈴 木 淳	教諭
錦織小	6 学年	芳 賀 明 洋	教諭
浅水小	6 学年	小 野 寺 博 美	教諭
米岡小	6 学年	佐 藤 英 明	教諭
南 方 小	6 学年	高 橋 敏 子	教諭
柳津小	6 学年	菅 原 満 夫	教諭
佐 沼 中	社会科	小 山 紘 明	教諭
米 山 中	社会科	守 康 幸	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成22年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	皆 川 寛 教諭
米 谷 小	社会科主任	小 畠 宏 夫 教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 美 紀 子 教諭
中 津 山 小	6 学 年	伊 藤 秀 樹 教諭
石 越 小	6 学 年	幡 江 真 穂 教諭
東 郷 小	6 学 年	鈴 木 有 教諭
横 山 小	6 学 年	及 川 信 太 郎 教諭
豊 里 中	社会科	井 上 鮎 香 教諭
南 方 中	社会科	富 安 隆 文 教諭

平成23年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
新 田 小	6 学 年	箱 石 雄 悟 教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬 教諭
米 川 小	6 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
宝 江 小	6 学 年	進 藤 俊 博 教諭
豊 里 小	6 学 年	小 野 寺 美 和 教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子 教諭
西 郷 小	6 学 年	長 南 忠 男 教諭
柳 津 小	5 学 年	菅 原 満 夫 教諭
中 田 中	社会科	中 津 川 英 樹 教諭
津 山 中	社会科	飯 川 弘 芳 教諭

平成24年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
佐 沼 小	6 学 年	関 根 大 悟 教諭
森 小	6 学 年	後 藤 智 子 教諭
錦 織 小	2 学 年	芳 賀 明 洋 教諭
加 賀 野 小	6 学 年	加 藤 め ぐ み 教諭
浅 水 小	6 学 年	山 田 紀 子 教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 正 彦 教諭
南 方 小	4 学 年	大 槻 征 玄 教諭
東 郷 小	6 学 年	後 藤 大 典 教諭
東 和 中	社会科	藤 浦 悟 教諭
石 越 中	社会科	伊 藤 圭 講師

平成25年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純 教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 孝 紀 教諭
石 森 小	5 学 年	千 葉 裕 子 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 勉 教諭
中 津 山 小	5 学 年	菅 原 真 理 教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之 教諭
西 郷 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀 教諭
横 山 小	教務主任	鈴 木 明 美 教諭
登 米 中	社会科	遠 藤 孝 講師
米 山 中	社会科	清 水 裕 治 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成26年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新 田 小	6 学 年	鈴 木 健 太 郎	教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬	教諭
米 川 小	6 学 年	高 橋 寛	教諭
宝 江 小	6 学 年	鈴 木 真 亀 子	教諭
豊 里 小	6 学 年	千 葉 恵 理 子	教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子	教諭
南 方 小	社 会 科	後 藤 善 史	教頭
柳 津 小	教 務 主 任	菅 原 満 夫	教諭
新 田 中	社 会 科	箱 石 雄 悟	教諭
豊 里 中	社 会 科	中 津 川 秀 樹	教諭

平成27年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
佐 沼 小	6 学 年	佐 々 木 理	教諭
錦 織 小	教 務 主 任	岩 淵 安 弘	教諭
加 賀 野 小	6 学 年	小 幡 秀 明	教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 智 之	教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之	教諭
東 郷 小	6 学 年	金 野 ゆ か り	教諭
佐 沼 中	社 会 科	及 川 正 生	教諭
中 田 中	社 会 科	白 石 善 郎	教諭

平成28年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純	教諭
米 川 小	6 学 年	佐 藤 理 英	教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 秀 明	教諭
中 津 山 小	6 学 年	鈴 木 周 一	教諭
南 方 小	6 学 年	佐 藤 ゆ か り	教諭
横 山 小	教 務 主 任	浅 野 克 樹	教諭
東 和 中	社 会 科	林 佳 舗	講師
南 方 中	社 会 科	鈴 木 一 郎	教諭

平成29年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新 田 小	6 学 年	高 橋 慎	教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 亘 平	教諭
石 森 小	6 学 年	高 橋 寛	教諭
浅 水 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀	教諭
西 郷 小	3 学 年	佐 々 木 芽 衣 子	教諭
柳 津 小	5 学 年	佐 藤 育 子	教諭
石 越 中	社 会 科	箱 石 雄 悟	教諭
津 山 中	社 会 科	白 石 善 郎	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成30年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
佐 沼 小	6 学 年	鈴 木 一 郎	教諭
登 米 小	6 学 年	後 藤 步	教諭
錦 織 小	6 学 年	岩 淵 安 弘	教諭
宝 江 小	6 学 年	遠 藤 寛 樹	教諭
豊 里 小	6 学 年	皆 川 玲 奈	教諭
米 山 東 小	6 学 年	千 葉 美 由 紀	教諭
登 米 中	社 会 科	中 津 川 英 樹	教諭
米 山 中	社 会 科	清 水 裕 治	教諭

令和元年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
上 沼 小	6 学 年	村 上 喜 久 美	教諭
浅 水 小	6 学 年	及 川 史 子	教諭
中 津 山 小	6 学 年	林 智 美	教諭
米 岡 小	6 学 年	高 橋 宏 典	教諭
石 越 小	6 学 年	二 階 堂 奈 々	教諭
横 山 小	6 学 年	佐 藤 祐 子	教諭
佐 沼 中	社 会 科	田 口 直 彦	教諭
東 和 中	社 会 科	伊 勢 健 二	教諭

令和3年3月

発行者 登米市租税教育推進協議会

租税教育用教材・資料・DVD等に関するご意見、ご要望を下記までお寄せください。

佐沼税務署 総務課（事務局） (0220) 22-2501